

総発行部数 38,000部

無料配布 36,000部

無料設置 2,000部

京田辺市、八幡市
欽明台・美濃山の情報満載
毎月無料で各ご家庭にお届け!

2



GOOD KYOTEA ANABE

巻頭特集

東体操スクール 東智司さん 子どもたちの未来に光を

スマートフォンアプリ
「フリモAR」を
表紙にかざそう!



特集 人生でたった一度の大切な日
成人式 2019

地元の求人情報が満載! JIMOJOB
ジモジョブ

伝すビダウンロード!!

スマートフォンのApp Store®、
またはGoogle Playで「フリモAR」と検索!

表紙がもっと楽しくなる!! **フリモAR**



子どもたちの未来に光を

昨年9月、八幡市欽明台北にオープンした東体操スクール。

代表は、和歌山市出身の東智司さん。

器械体操の日本代表選手として、

旧姓・川崎智司の名で90年代に活躍した。

度重なる怪我と、大きな挫折を経て15年。

指導者として、再び体操の道を歩み始めた。



運動が大好きだった幼少期 素質を見込まれ名門クラブへ

真新しい白壁のジムに、子どもたちの歓声が響き渡る。助走から側転、ロンダート（ひねり側転）から後方宙返りへ。うまく着地できる子どもいれば、姿勢を崩してはにかむ子もいる。だが、皆一様に笑顔だ。「最初からうまくできる子なんて、一人もいません。まずは、体を動かす楽しさを感じるのが大切です」と話す

のは、東体操スクールの代表・東智司さん。遠目から見れば驚くほどの強面だが、子どもたちを見守る瞳は実に優しい。東体操スクールのオーブンにたどり着くまで、紆余曲折があった。

人より運動神経が良いかもしれない、と東さんが気づいたのは4歳の頃。母・克子さんに連れられて、和歌山市内の体操センターに通った。先生から与えられた課題はもの足りず、半年ほどで退会した。



「遊びながら楽しく」ネットに、個々の運動能力に合わせて指導をする

る。小さな胸が高鳴った。

五輪を目指した練習の日々 突然断られた選手生命

東さんは、めきめきと頭角を現した。小学3年生から競技大会に出場し、5年生のときに日本代表ジュニアアナショナルメンバーに選出される。中学、高校と進むにつれ、国内大会のほとんどで、床、鞍馬、吊り輪、跳馬、平行棒、鉄棒のうち、いずれかの種目は優勝。総合優勝も何度か経験した。

「競技に向けた練習を重ねるなか、東さんは一番身近な目標。僕たちにとって、お兄さんのような存在でした」と振り返るのは、和歌山オレン

ジ体操クラブ出身で、2012年ロンドンオリンピック体操男子団体総合の銀メダリスト、田中和仁さん（徳洲会体操クラブ所属。妹・理恵さん、弟・佑典さんとともに同大会に出場し、「田中三兄妹」と呼ばれ名を馳せた。和仁さんは東さんの4歳下、かわいい弟分だった。

ナショナルメンバーとして国内外で転戦した東さんだが、全日本体操競技選手権大会を控えた高校3年の秋、大きな怪我に見舞われた。トラップリンで着地に失敗し、下半身に激痛が走った。膝蓋骨脱臼骨折。左足が、見たこともない方向に曲がっていた。

大会をあきらめて治療に専念したが、練習再開後に再発。「家族一丸となってオリンピック出場を目指していましたから、周囲から治療を勧められました。でも、無理だということ、自分が一番分かっていたんです」

スポーツ推薦を受けて順天堂大学に進学するも、体操への情熱が再び燃え上がることはなかった。



コーチの東ひかるさん（左）と生瀬友尊さん（右）。以前の職場からともに退社し、東代表を支えている

過去の自分と向き合い 次なる夢の実現に向けて

大学を中退し、鬱屈とした日々を過ごした。過去のトロフィーやメダルは、すべて棄てた。アルバイト生活を経て、製造メーカーに就職。仕事の覚えは誰よりも早く、昇進もしたが、真つ直ぐな性格から長くは続かなかつた。建設現場の仕事を覚え、25歳で会社を興し出した。しかし、過去の自分とは向き合えていなかった。

転機が訪れたのは28歳。昔のコーチから、兵庫県内の体操クラブの指導を頼まれた。久しぶりに踏んだ床の感触に、懐かしさがこみ上げる。指導者の道もある、と思つた。

やがて、京都府内のスイミングクラブが体操教室を新設するにあたり、インストラクターを務める。スポーツ医学を独学し、自身の経験を指導に盛り込むと、生徒数は右肩上がりに増えた。ところがある日、施設の耐震改修を会社に求めた東さんは、上層部と衝突。退社を余儀なくされてしまう。

独立の意思は固まっていた。ともに退社した生瀬友尊さんと約束を交わすと、資金を調達し、昨年9月に東体操スクールをオープンした。現在、スクールでは幼児から高校生までの各クラスのほか、大人向けのバク転クラスも開講している。噂を聞きつけて、生徒も続々と増えつつある。「子どもたちに自信を与え、心の成長を促したい。いつか体操を

我が子を見かねた克子さんが次に訪ねたのは、和歌山北高校を拠点とする和歌山オレンジ体操クラブ。多くの有名選手を輩出してきた名門だが、入会希望者のほとんどは、選考テストで落とされる。

クラブに初めて訪れたとき、コーチの指示で一度だけ側転を試してみせた。「あとは預かりますから、お母さんは帰ってください」。選考テストもないまま、その日から通い始めた。

体育館の中は、新鮮な驚きに満ちていた。「テレビで見たような技を、高校生がやるんです。そりゃ、ワクワクしましたよ」と振り返る。目の前には、限らない世界が広がっている



上) ウォーミングアップを兼ねて、体力トレーニングを取り入れている。ジムは笑顔に包まれる
右) 上級者が集まるアクロバットクラス。運動能力の向上は、子どもたちの自信につながる
左) 親子体操、就学前、幼児、児童、上級などに分かれる。体の動かし方を一から学べる

information
東体操スクール
http://azuma.main.jp/
幼児体操から大人向けのバク転クラスまで、年齢を問わず生徒を募集中。体験予約あり(1,080円)。詳しい情報はウェブサイトをチェック!
[住所] 八幡市欽明台北2-2
[電話] 075-983-8839
[連絡] azuma-gym@ksf.biglobe.ne.jp
[休] 日曜定休

メダリストイベント開催!
田中和仁選手がやって来る!
[日時] 1月27日(日)
①13:00~14:15 75分レッスン(先着30人)
②15:00~16:30 トークショー、写真撮影会、サイン会(先着100人)
[参加費] ①1人1,000円 ②1人1,000円
※要予約。定員が集まり次第受付終了 ※同伴保護者も有料です

徳洲会体操クラブ所属
田中和仁さん